

2019年度 福祉助成金（活動助成）成果報告書 提出用

公益財団法人 橋本財団
理事長 橋本 俊明 様

2020年5月31日

ふりがな	ぜんこくぼらんていあなーすのかい きゃんなすおかやま			
団体名	全国ボランティアナースの会キャンナス岡山			
代表者名	役職名	代表	氏名	玉谷 弘美
連絡先	住所	岡山市南区妹尾 869-3		
	TEL	086-250-0441/ 080-6327-0405		
	E-mail	houmonkango-kizuna@tmail.plala.ne.jp		
	URL	http://www.heartnurse-okayama.com		
設立年（西暦）	2009 年			
主な活動	地域に住んでいる看護師が忙しいご家族にかわり介護のお手伝いや疾病、障害によりあきらめていた本人の思いを叶え、心豊かな時を過ごせる支援をする訪問ボランティアの活動			
活動の対象者	医療専門職に関わらず地域にお住いの在宅医療に関心のあるすべての方々			
助成活動名	感謝と絆で綴る 10 周年記念講演会			
助成額	843,000 円			
実施内容	目的	ボランティアナースの活動を広めるための講演会開催		
	内容	<p>◆ 準備</p> <p>岡山市・倉敷市・玉野市内の講演会場選定と日程調整</p> <p>2019年3月</p> <p>実施計画を作成。</p> <p>特別講演講師依頼</p> <p>プログラム作成し、ちらしデザイン考案。</p> <p>2019年4月</p> <p>コンベックス岡山を選定し4月契約。</p> <p>当日の準備、会場確認</p> <p>◆ 広報</p> <p>チラシ作成。各町内に回覧、掲示板に貼付。チラシ郵送、持参し、各機会、多方面に直接、間接に手分けして広報する。（岡山県介護支援専門員協会様、岡山県訪問看護連絡協議会様等ご協力いただく。）</p> <p>SNS 利用。</p> <p>◆ その他</p> <p>配布物の授受及び配布方法の準備調整。</p> <p>会場借用、利用に関する準備調整。</p> <p>講師招聘に関する準備調整。</p> <p>全国ボランティアナース代表招聘に関する準備。</p> <p>岡山市長様、祝電依頼</p>		

	<p>後援者名義使用の依頼 第二部の構成に関する依頼、打ち合わせ。 第三部の構成プログラミング 司会打ち合わせ 前日会場確認（音響器械操作手順・照明操作・備品貸与確認） 前日必要物品確認、印刷物等の確認、 当日スタッフ打ち合わせ</p> <p>2019年10月26日 【参加人数】 約300名 【実施場所】 コンベックス2F 国際会議場 【実施スケジュール】 2019年10月26日 13:30～16:30 【講演会・イベント・information】 特別講演：『なんとめでたいご臨終～旅立つ方、残された家族、みんなが「ありがとう」と言い合えるヒントがいっぱい～』 ・在宅医療の推進 在宅で見取り、最期を迎えることについての知恵や知識を映像や事例、書籍などで深めてもらう。 コンサート：倉敷ふるさと大使によるコンサート インフォメーション：フォト上映による株式会社ハートナースの軌跡</p>
<p>成果</p>	<p>発足から10年、訪問看護の制度と両立できて利用者の要望に柔軟に対応できると考えてキャンパスを始めたキャンパス岡山の活動はこの地域で看護、介護の訪問ボランティア活動をする看護師（ナース）ができる（キャン）ことをする。療養中の住民の「困った」「誰か助けて」という声にできるだけ応えようという高邁な志をもって活動している看護師や介護士の方々に支えられてきた。</p> <p>医療保険や介護保険に縛られることはなく活動の基本は、本人の生活を「家族に代わって」手助けすることを目的としている。キャンパスをいろいろな地域で立ち上げてほしいと講演などで訴え、今回のようなキャンパス岡山の活動を広報する機会を与えていただいたことはその一助となり、そしてその活動を裏付けするかの如く全国でも活動している拠点がどんどん増えていることは大きな成果と考える。今まで医療介護や障害者支援、子育てなどの制度は家族が付き添い、支える事で成り立っていた。現在、高齢者夫婦だけの家族や一人暮らし、母子父子家庭などが増えてきており、その社会構造が崩れてきている。自宅を訪問する訪問看護師は医療専門職でありキャンパスの一員として、いろいろな家庭事情に通じており、困り事の相談役や心の支えとしてますます活動は広がると思う。</p> <p>特別講演ではそれぞれがイメージしていた看取りについてのイメージ・価値観が変わるきっかけの機会をもらったと感じている。</p> <p>笑顔で長生き。ぴんぴんころり。 「なんとめでたいご臨終」 さあみんな、“笑顔でピース”という看取りの表題がとても印象深い。 多職種が連携して家族と共にチームとして医療介護のケアに当たっていくことで苦痛を和らげ、最期まで家で居たいという願いを叶えてこられている。</p>

	<p>同様にオンライン診療に関しての紹介もチームケアの協力があってこそ温かいケアをすすめていけることの事例もこれからの医療看護の担い手に活力をもらったと感じている。</p>
<p>今後の課題と対応策</p>	<p>地域の皆様をはじめ、多くの関係機関の方々のご協力があってこそ、私どもの活動が成り立つものと実感している。 この度の講演会ではキャンパス活動を知ってもらう大きな機会を与えてもらった。より理解してもらう広報活動は実際に‘無理’と感じている本人の思いを叶え、心豊かな時を過ごせる支援をする訪問ボランティアの活動を積み重ねていくことだと思う。</p>
<p>参加者・利用者の感想など</p>	<p>医療介護関係者のみならず一般参加者より、わかりやすく聞きやすい講師の温かい話ぶりにこのような講演会に参加したことがないと言われて「楽しかった」と評されたのは大変うれしいことだった。見取りに関して再確認する機会になった。 人生観・死生観が変わる講演だった。死に対するイメージはマイナスなものだったが前向きにとらえる機会となった。 “家の力” 信じています。 大人のみならず保育園児、小学生の参加もあり、誰もがわかりやすく地域の一員としての意識も芽生えた様子、たれかのお役に立ちたいと参加者全員の思いが一つになり繋がりを確信。安心できたと言って頂けた。 とても楽しく参加しやすかった。 テレビに出ている人に合えて嬉しかった。 講演会に参加させていただき、心の中に力が湧いてきました。</p>
<p>写真の提出</p>	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;">  </div> <div style="width: 50%;">  <p style="text-align: right;">当日受付風景</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p style="text-align: center;">司会風景</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p style="text-align: right;">全国ボランティアナースの会代表祝辞</p> </div> <div style="width: 50%;">  </div> <div style="width: 50%;">  <p style="text-align: right;">第一部特別講演 ：「なんとめでたいご臨終」</p> </div> </div>



第二部：スペシャルコンサート



第三部：ハートナースの軌跡

